**：2013年5月改訂
*：2012年10月改訂

使用前にこの説明文書を必ずお読み下さい。
また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

第1類医薬品

一般用
H2ブロッカー胃腸薬

ガスター10 内服液

- **3日間**服用しても症状の改善がみられない場合は、服用を止めて、この文書を持って医師又は薬剤師に相談して下さい。
- **2週間**を超えて続けて服用しないで下さい。
（重篤な消化器疾患を見過ごすおそれがありますので、医師の診療を受けて下さい）

ガスター10　内服液の特徴

「ガスター10 内服液」は、胃の症状の原因となる胃酸の出過ぎをコントロールし、胃粘膜の修復を早める薬で、胃酸中和型の胃腸薬とは異なるタイプの胃腸薬です。
本剤は1本飲みきりタイプの薬です。

使用上の注意

してはいけないこと（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります）

1. 次の人は服用しないで下さい。
   (1) ファモチジン等のH2ブロッカー薬によりアレルギー症状（例えば、発疹・発赤、かゆみ、のど・まぶた・口唇等のはれ）を起こしたことがある人
   (2) 医療機関で次の病気の治療や医薬品の投与を受けている人
   血液の病気、腎臓・肝臓の病気、心臓の病気、胃・十二指腸の病気、ぜんそく・リウマチ等の免疫系の病気、ステロイド剤、抗生物質、抗がん剤、アゾール系抗真菌剤
   （白血球減少、血小板減少等を起こすことがあります）
   （腎臓・肝臓の病気を持っている場合には、薬の排泄が遅れて作用が強くあらわれることがあります）
   （心筋梗塞・弁膜症・心筋症等の心臓の病気を持っている場合には、心電図異常を伴う脈のみだれがあらわれることがあります）
   （胃・十二指腸の病気の治療を受けている人は、ファモチジンや類似の薬が処方されている可能性が高いので、重複服用に気をつける必要があります）
   （アゾール系抗真菌剤の吸収が低下して効果が減弱します）
   (3) 医師から赤血球数が少ない（貧血）、血小板数が少ない（血が止まりにくい、血が出やすい）、白血球数が少ない等の血液異常を指摘されたことがある人
   （本剤が引き金となって再び血液異常を引き起こす可能性があります）
   (4) 小児（15歳未満）及び高齢者（80歳以上）
   (5) 妊婦又は妊娠していると思われる人
2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないで下さい。
   他の胃腸薬
3. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けて下さい。

相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談して下さい。
   (1) 医師の治療を受けている人又は他の医薬品を服用している人
   (2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
   (3) 高齢者 (65歳以上) (一般に高齢者は、生理機能が低下していることがあります)
   (4) 次の症状のある人
   のどの痛み、咳及び高熱 (これらの症状のある人は、重篤な感染症の疑いがあり、血球数減少等の血液異常が認められることがあります。服用前にこのような症状があると、本剤の服用によって症状が増悪し、また、本剤の副作用に気づくのが遅れることがあります)、**原因不明の体重減少、持続性の腹痛** (他の病気が原因であることがあります)
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談して下さい。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ
循環器	脈のみだれ
精神神経系	気がとおくなる感じ、ひきつけ(けいれん)
その他	気分が悪くなったり、だるくなったり、発熱してのどが痛いなど体調異常があらわれる。

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

	症状の名称	症状
	ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
	皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
	横紋筋融解症	手足・肩・腰等の筋肉が痛む、手足がしびれる、力が入らない、こわばる、全身がだるい、赤褐色尿等があらわれる。
	肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
**	腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
	血液障害	のどの痛み、発熱、全身のだるさ、顔やまぶたのうらが白っぽくなる、出血しやすくなる(歯茎の出血、鼻血等)、青あざができる(押しても色が消えない)等があらわれる。
*	間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。

3. 誤って定められた用量を超えて服用してしまった場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談して下さい。
4. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強がみられた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談して下さい。
   便秘、軟便、下痢、口のかわき

効　能・効　果

胃痛、胸やけ、もたれ、むかつき
（本剤はH_2ブロッカー薬を含んでいます）

〈効能・効果に関連する注意〉
効能・効果に記載以外の症状では、本剤を服用しないで下さい。

用　法・用　量

胃痛、胸やけ、もたれ、むかつきの症状があらわれた時、次の量を服用して下さい。

年　　齢	1　回　量	1日服用回数
成人（15歳以上、80歳未満）	1本	2回まで
小　　児（15歳未満）	服用しないで下さい。	
高齢者（80歳以上）		

・服用後8時間以上たっても症状が治まらない場合は、もう1本服用して下さい。
・症状が治まった場合は、服用を止めて下さい。
・3日間服用しても症状の改善がみられない場合は、服用を止めて、医師又は薬剤師に相談して下さい。
・2週間を超えて続けて服用しないで下さい。

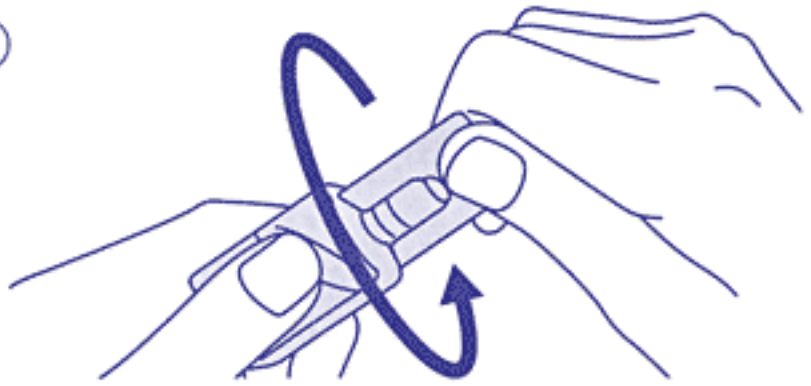
〈用法・用量に関連する注意〉
（1）用法・用量を厳守して下さい。
（2）本剤を服用の際は、アルコール飲料の摂取は控えて下さい。
（薬はアルコール飲料と併用しないのが一般的です）

〈容器の開封方法〉
無理にひっぱらずに、キャップをゆっくり回して開けて下さい。

①

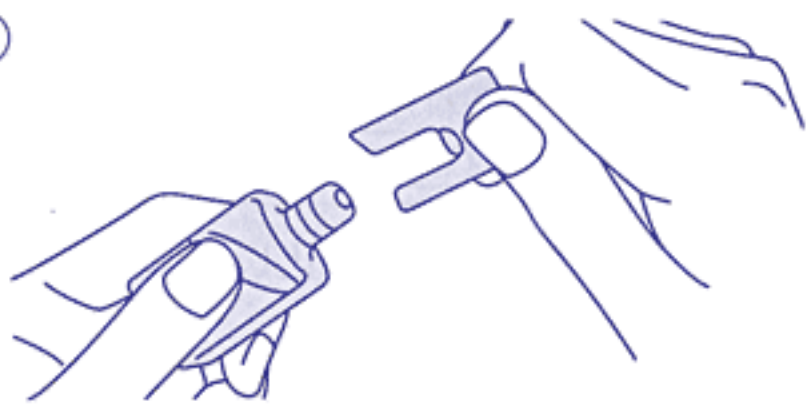
キャップ（矢印の部分）**をつまんで下さい。**

②



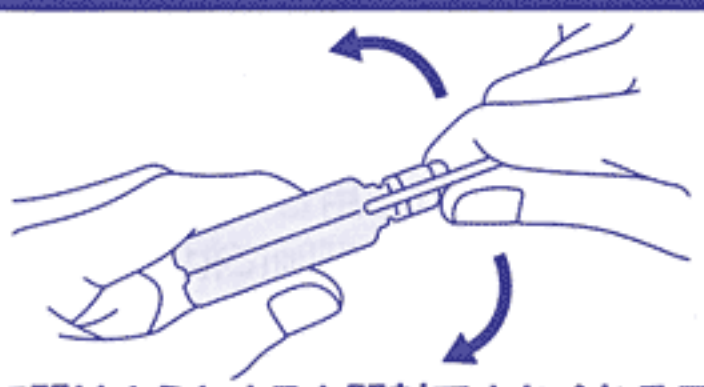
ゆっくり回して開けて下さい。
（その際、ボトルを強く握りすぎると、薬液が飛び出すことがありますので、ご注意下さい）

③



キャップを外して服用して下さい。

折り曲げて開けないで下さい。



折って開けようとすると開封できなくなることがあります。必ずゆっくり回して下さい。

成　分・分　量

本剤は液剤で、1本(10mL)中に次の成分を含有しています。

成　　分	分　　量	はたらき
ファモチジン	10mg	胃酸の出過ぎをコントロールします。

添加物：エデト酸カルシウムニナトリウム、スクラロース、香料、*l*-メントール、エタノール、pH調節剤

保管及び取扱い上の注意

(1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
(2)小児の手の届かない所に保管して下さい。
(3)他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります)
(4)表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。
(5)未開封のボトルは、品質保持の点から袋に戻し外箱に入れて保管して下さい。
(6)外箱の「開封年月日」記入欄に、開封した日付を記入して下さい。

この薬は決められた時間ごとに服用する薬ではなく、症状が出た時に服用する薬です。
食事による影響はありませんので、食前・食後・食間いつ服用いただいても結構です。
1回1本で約8時間胃酸の出過ぎをコントロールしますので、1日2回服用する場合は8時間以上あけて下さい。

胃腸の健康を維持するために

暴飲暴食、嗜好品のとり過ぎ、食事を抜く等は、胃腸の健康を害します。
このような食生活は避けましょう。
また、定期的に健康診断を受けましょう。

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い致します。
第一三共ヘルスケア株式会社　お客様相談室
〒103-8234　東京都中央区日本橋3−14−10
電　　話 03(5205)8331
受付時間 9:00〜17:00(土、日、祝日を除く)

http://www.daiichisankyo-hc.co.jp/

製造販売元
第一三共ヘルスケア株式会社
東京都中央区日本橋3−14−10